

春闘!

# SiEN

春号



表紙右上の「春闘!」には、「春は眠気と闘いましょう!」と「作業所の工賃を上げる!」の意味を込めました。(越智)

正しい知識の大切さ

地域活動支援センターなぎ 所長  
精神保健福祉士・社会福祉士 石川 誓子

先日、ある中学校で、授業の一環として行われる「職業講演会」の講師をさせて頂きました。子どもたちが仕事への具体的なイメージをもてるように、保護者や近隣の関係者の方に、自分の職業について語ってもらおうという取り組みだそうです。私がこの講師に手を挙げたのは、「福祉の専門職について知ってほしい」という以外に、「精神障がい者について正しい理解をしてほしい」という思いからでした。

誰でもなりうる病気だということ、他の病気と同じように早く治療したほうが良いこと、病気になっても地域で普通に暮らしている人がたくさんいることなどを話しました。精神障がい者についてどんなイメージを持つかと聞くと、まだまだ「こわい人」「へんな人」という意見が多かったです。障がい者の暮らす場や働く場が地域に増えたとはいえ、社会の偏見はすぐには変わらないということを感じました。話ばかりではと思ひ、当事者の方が表紙を飾り、投稿している雑誌を見てもらいました。「普通の人だ」「自分たちと同じじゃない」という声が聞こえました。雑誌とはいえ、当事者の方の力を感じました。講演後のアンケートでも、「怖いイメージがなくなった」とか「精神障がい者のイメージが変わった」等の感想が多くみられました。講師を引き受けて、改めて若い世代への正しい知識の普及が必要だと痛感しました。

なぎが設立して間もなく8年目を迎えます。すぐには変わらないけれど、これからもいろいろな形で発信していきたいと思ひます。皆さま、ご協力どうぞよろしくお願ひ致します。